

認知症対応型通所介護について

認知症になっても住み慣れた
家庭や地域で



地域密着型サービス分科会
認知症対応型通所介護連絡会

認知症デイサービスの始まり

1989年のゴールドプラン
高齢者対策の一環として創設。

練馬区では
平成3年より開始



現在の認知症デイサービス

★ 練馬区内 16か所の認知症対応型通所介護

オレンジ色 認知症デイマップ

認知症対応型通所介護とは

認知症の方が、デイサービスに訪れて入浴、排泄、食事などの介護、そのほかの日常生活を送るうえで必要となるサービスや機能訓練を行います。

また精神的・身体的な部分の機能回復だけでなく、自宅に引きこもりがちになる認知症高齢者の社会的な孤立感を解消したり、家族の介護負担を軽減（レスパイトケア）することも目的とし、認知症に対して適切なサービスと柔軟な対応を行います。

利用の対象

- ◆練馬区におすまいの方
- ◆介護認定を受け要支援1、要支援2
または要介護1～5と認定された方
- ◆医師による『認知症の診断』か、
『認知症高齢者の日常生活自立度』
一定レベル以上を満たされた方

送 迎

車椅子をご利用の方、送迎に不安のある方も玄関まで、送り迎えいたします。



入浴



- * お風呂は家族も抱える問題の一つです。
ゆっくり、丁寧に、
身体の観察も含め行います。



食事

- 食事は健康のバロメーターです。刻み、お粥、ミキサー、トロミ等、個々に対応をすることができます。
- 召し上がった分量等家族に必ず伝えていきます。
- カロリーや糖尿食などの制限にも対応している施設もございます。

機能訓練



- * 施設により実施しているところもございます。
- * 認知症対応型通所介護の場合は、ご利用の中で、生活リハビリを踏まえ機能訓練を実施しています。

一日の流れ (午前)

- 8:30 **送迎開始**
ご自宅までお迎えに伺います
- 9:00 **午前の部 開始**
- 看護師による健康チェック
(血圧・熱・脈拍などの身体状態)
 - ストレッチ体操
 - マシンによる筋力トレーニング
 - 個別運動トレーニング
 - 希望の方は入浴もできます
 - 途中、お茶などの休憩をとりながらリラックスタイム
- 12:05 **昼食**
- 口腔ケアもいたします



一日の流れ (午後)

13:30 午後の部 開始

- 趣味クラブ活動
- 茶話会
- 脳トレーニング
- カラオケ
- 音楽コンサート 等

16:35 送迎開始

ご自宅までお送りします

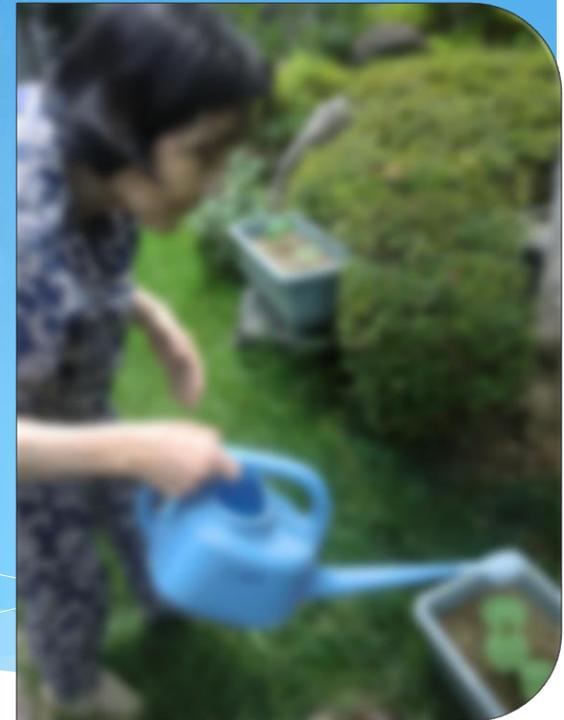


pixta.jp - 8736035



一日の流れ

開始時間(提供時間)は施設により様々です。
朝から夜まで提供している施設もございます。
各施設にご相談ください。



家族と医療の連携

- * 活動については、連絡帳や電話にて随時ご連絡いたします。
- * ご家族より自宅内でのことや体調のこと等連絡いただいた時には、必要あらばケアマネジャーに連絡を行います。
- * 連絡ノートは、通院時医師が状況を確認する時に活用されることもございます。

一般のデイサービスで できない事もお任せ下さい。

現在、通所介護(デイサービス)に通っている方の中で
人に合わせた行動をとっていませんか？

一般のデイサービスで大丈夫と思っている方、気が付くと認知症が
進行していませんか？

最近、ひどい物忘れや、あいづち、その場での合わせ言葉が目
立っている方はいませんか？

理解力の低下によりプログラムについていけない。

日々変化する精神状態に応じた対応がむずかしくなっています。

認知症の進行や孤立感、協調性から周辺症状が憎悪してしまうこともあります。

個別や少人数のデイサービスに通うことにより、より多くの気づきや行動が可能になって
いきます。

認知症デイサービスではそんな方に、少人数ならではの柔軟な対応をしています。

小人数制で 専門的な認知症ケア



ご家族や関係機関とより
深い連携がとれます。

- ◆認知症の方に専門にサービスの提供ができます。
- ◆一般のデイサービスと比べ、手厚い職員体制で対応します。
- ◆認知症の進行予防やその人らしい過ごし方ができます。
- ◆入浴、食事、トイレなどをお手伝いします。
- ◆日帰りで通う介護施設です。
夜間延長の施設もあります。

人員配置

- 管理者 1名（認知症対応型通所介護を提供するために必要な知識及び経験を有する者。）
- ※管理者は「認知症対応型サービス事業管理者研修」を修了することが必要
- 看護職員又は 専従の看護職員若しくは准看護職員又は介護職員が2名以上。
- 介護職員（生活相談員、看護職員又は介護職員のうち1名以上は常勤であること）
- 機能訓練指導員 1名

認知症デイでの取り組み



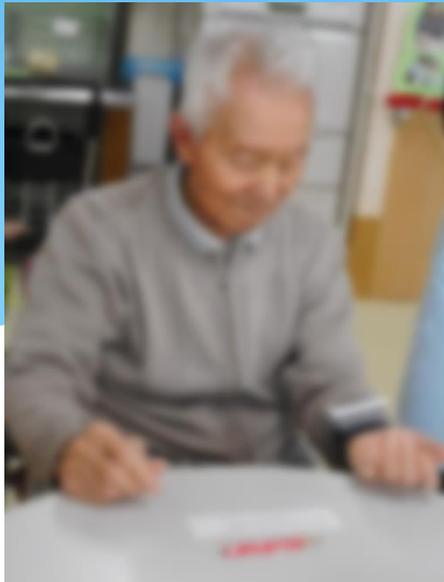
◆各施設での取り組みは違いますが、私たちの共通意識で対応をしています。

認知症デイでの取り組みを紹介いたします。

認知症デイでの取り組み

○繰り返し自分の名前を書くことで、残存能力の維持につながり、また、書くことが困難な方に対してもスタッフが一緒に行うことで徐々に書けるようになる方もいます。書くことに慣れ、写真の男性のように自身の血圧を書くようになった方もいます。

繰り返しを日々の活動に取り入れることで、ハサミを使い作品作りをしたり、最初はなかなかできなかつた物を積み重ねることができるなども現場で良く見られています



認知症デイでの取り組み

○食器洗いや食器拭き、たたみ物など生活習慣で身につけていることはどんどん行って頂きます。料理作りなども、包丁を持つと自然と体が動いてしまう方が多くいらっしゃいます。サービス利用開始の際、職歴や趣味などを家族や本人から伺い、活動に取り入れることで環境に馴染みやすくなります。

出来ること、やりたいことを見つけ出し提供することで、やりがいにつながっています。



認知症デイでの取り組み

○指先の運動も兼ね、映画などの題材をもとに紙芝居を作ります。自主性を尊重し、彩色やきりばりなどを行っています。活動中は、回想法を用いて皆様の思い出話などに花が咲きます。



認知症デイでの取り組み



季節感を味わって頂きながら、どの花を選び、どこから生けるかなど自身の選択を尊重して行っています。最後には、皆様の作品を誉めることで、とても素敵な笑顔が咲きます。

認知症デイでの取り組み



○作品を作る時には、得手不得手を観察する事から始め、多くの作業工程を取り入れながら一人ひとりに役割を持っていただいております。役割を持つことで皆様集中して作品作りに取り組まれています。

認知症デイでの取り組み



○歩行運動の一環として取り入れた谷中七福神めぐりでは、昔は主人とよく浅草に行ったけど、今は全然行ってないというお話から、楽しく目標を持って運動に取り組めるよう考案しました。目的地に着くと七福神カードをお渡しすることで、あまり好きではない運動に対しても自ら行えるようになりました。

地域との交流



地域で行われているイベントに参加しています。



地域の皆さんも参加する夏祭りのマジックショーで大盛り上がり。
近くで見てもわかりません。不思議！

運営推進会議



平成28年度より、年度で2回の開催が義務づけられています。

会には、ご家族や町会役員、民生委員、練馬区職員、居宅介護支援事業所の方などに参加していただき、運営状況や活動内容などの報告を行っています。出席者の皆様からも多くのご意見をいただくことが出来、新しい発見や活動内容の良いアイデアに繋がる事が多々ございます。

また、ご家族からは普段見ることの出来ない自宅での様子を聞かせていただいたり、逆に困っている事がある時には、一緒に悩みアドバイスなど行っています。町会の方や民生委員の方からは、地域の方の相談があったり、地域行事へのお誘いなどがあり、地域に密着した事業所運営に大きく貢献頂いております。事業の透明化を図り、皆様から頼られる事業を目指しています。

デイサービスの上手な利用の仕方

利用者を良く理解し尊重してくれる介護施設(サービス)を選ぶ事が大事です。

また、心配な事は必ず質問する事も大切です。利用者側の要望もしっかり伝えておくことも良い事です。施設職員との連携が密に取れる施設であれば、その後の状況の変化も速やかに対応が出来るのです。デイサービスを長く利用する為には、介護施設のサービスの充実も挙げられますが、それ以上に、利用者が施設の中で、生き甲斐や自分の役割等が見出せる事と考えています。

何でもしてくれる介護施設も魅力ですが、出来る事は自分でするなど、利用者の自立をしっかりと考えているデイサービスを利用するのが大事とも考えています。

認知症デイサービスの効果

専門性と手厚さで認知症利用者を支援する

認知症対応型デイサービスの最大の特徴は、利用者が専門的な認知症ケアを手厚く受けられる。また、その人らしく在宅で生活していくための支援を受けられるという点になります。

例えば、日常生活で行う掃除や洗濯や調理といった活動を、大人数の中で個別に行うことは難しいですが、職員が寄り添いながら周りを気にすることなく本人のペースで出来るとしたら、その質や満足感は他のサービスとは比較にはならないと考えます。

認知症デイサービスの効果

家族からの声

- 利用して、普段の母の行動が変わった。自宅にいる時は、テレビばかり観て顔に表情が無かったが、表情が出るようになった。
- デイサービスに通うようになって、今までにない行動や歌など唄うことを知った。驚きの事が多数あり家族の話題が増えた。本人は覚えてないがそれもまた、家族の笑いとなっています。
- ご飯を食べた後、急に茶碗を洗うようになった。デイサービスでの習慣だと連絡帳を通して知りました。嬉しく感じます。
- 足腰が元気になった。逆に外に出て行ってしまおうんではないかと心配になった。今のところは大丈夫であるが、デイサービスを増やした方が良いと思うようになった。

認知症デイサービスの効果

- * ・家族内の喧嘩が減ってきた。
- * ・認知症になり、家での役割が減り無口になった父も認知症でサービスでは、元大工を活かし、木工クラブで生き生きしています。
- * ・デイサービスの休みの日も出かける準備をし、迎えが来ない事を伝えると自転車で行くなどと言い始め大変です。
- * ・仕事を辞めようと考えていたが、利用することにより継続ができた。感謝したい



ご清聴ありがとうございました。

認知症デイの会 一同

